



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.7 >

BULLETIN

2024年7月～2025年6月

会 長	樋口 順英
副 会 長	青木 方枝
書 記	村杉 一榮
会 計	小仁 恵子
監 事	柿沼 敬喜
監 査	西澤 紘一
担当主事	柳原みづき

国際会長	チャーミング・シェン	「太陽の輝きと笑顔」
アジア太平洋地域会長	ジョウン・ウォン	「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事	山田 公平	「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長	山本 剛史郎	「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
クラブ会長	樋口 順英	「元気で楽しいのが一番！」

7月 ワイズの原点(奉仕)

兄弟たちよ。あなた方が召されたのは、実に、自由を得るためである。ただ、その自由を肉の働く機会としない
で、愛を持って互いに仕えなさい。(ガラテヤ人への手紙 5 章 13 節)

*人間は奉仕の原点は、自由意志と愛である。

2024年7月キックオフ例会

「元気で楽しいのが一番！」

会長 樋口 順英

日時:2024年7月17日(水) 18:00~20:00

場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

★進行:樋口メン、 受付:柿沼メン、

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会長
新年度運営方針	樋口 会長
前年度収支決算報告、新年度予算案	柿沼 メン
卓話「今年度の東京 YMCA の事業方針 および東京グリーンへの期待」	

東京 YMCA 総務部長 戸坂 昇子 様

各種報告	樋口 会長
YMCA 報告	柳原 主事
閉会点鐘	樋口 会長

▲こんにちは。24/25年度も引き続き、
会長およびブリテン担当を務めさせてい
ただきます。引き続きご指導をよろしくお
願いたします。

▲この1年、メンバー各位や YMCA はじ
め各方面の皆さまに支えていただきあり
がとうございました。

▲とくに22/23年度の50周年記念例会、23/24年度の
在京新年会では、本番当日の一体感がすばらしく「やる
ときゃあ、やる！」伝統の底力を強く感じました。

▲今年度のテーマは「元気で楽しいのが一番！」です。
メンバー各自が、YMCA とつながり、自分に合ったクラ
ブライフを楽しむための場を創りたいと思います。
元気なほうがより楽しいですので、どうか健康にはくれ
ぐれも注意しましょう。

(1)魅力ある例会を準備します
みんなが集まりお弁当を食べながら語り合うひと時
を過ごしましょう。

(2)より一層お客様目線の神田川船の会を。

▲私事ですが、体力、知力が衰えてきている中、一日一
日をていねいに生きることを心掛けたいと思います。



【例会出席率】 在籍:15名 6月出席率10/13 77%

出席:6月 (メン10名、メネット0名) 計10名

【ニコニコ】 ¥18,000

◆ (6/19) 2024年6月例会報告



日時：2024年6月19日(水) 18:30~20:30

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター

出席者：青木、柿沼、佐野、西澤、西本夫妻、根本、村杉
柳原、樋口各メン(司会進行：西澤メン)

開会点鐘、樋口会長による今年度の総括、ワイズソング、ワイズの信条、聖句、食事会の後、メンバー各位に語っていただきました。

▲ この1年の振り返りと今年度の抱負をひとこと：



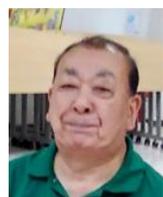
青木方枝メン：(24/25年度副会長)
旧北クラブから2名ご入会、嬉しいです。クラブ交流は旧交を温め楽しい。これからも当クラブのために尽力します。年はとって気持ちも若いワヨ。



村杉一榮メン：(同、書記)
昨年11月に北クラブから入会しました。体調も良くなったし元気に例会出席します。これからもよろしく。



根本幸子メン：
月1回の例会は嬉しいです。出席して皆様と顔を合わせて語り合うことは楽しいことです。また、足腰の鍛錬のため歩いています。



佐野守メン：
ワイズ歴長く知り合いも多い。体力の続く限りやります。身障者スポーツ(卓球)支援に全力で取り組んでいます。



柿沼敬喜メン；(同、監事、監査)
この1年たいへん忙しかったが、なんとかうまくいったと思います。十勝黒毛和牛は美味だった。最近では居候の孫との「抗争」で精神的に参っています(笑)。



西本東司、息子両メン：
35歳でグリーン入会し、以来多くのことを勉強しました(東司)。能登半島地震支援のYMCA報告には感動しました

(5月例会)。時間に余裕がすこしてきたのでこれからはボランティア活動により世の中で役に立ちたいです。



西澤紘一メン：
ワイズ活動を次世代に伝えていくため、ユースとの接点を創りたい。将来のワイズ発展のためにはユース支援が欠かせないが、現在は難しい側面もある。



柳原みずきメン：
とくにこの半年は、仕事との両立がたいへんでした。グリーンに居るときは昭和の空気に触れてホッとします。これから、時間にゆとりをつくり、もっと色々話したいです。

樋口順英メン：【写真省略】

毎月の例会、在京新年会の運営では、東京YMCAの皆さまにお力になっていただきました。感謝感謝です。

▲ 各種報告(報告書をお配りし、説明省略)

- ① 23/24年度表彰：6月1日(土)第27回東日本区大会(十勝)において下記表彰を受けました。

表彰者	賞名	受賞者名
理事	ゴールデンメンバー	古平光市
地域 Yサ	CS 献金達成賞	東京グリーン
	ASF 献金達成賞	東京グリーン
	FF 献金達成賞	東京グリーン
会員 増強	新入会員獲得努力賞	青木方枝
	同 優秀個人賞	東京グリーン
	ハンドロップ賞	東京グリーン
国際 ・交流	BF 献金達成賞	東京グリーン
	TOF 献金達成賞	東京グリーン
	RMB 献金達成賞	東京グリーン
	YES 献金達成賞第1位	東京グリーン
ユース	ユース活動支援献金達成賞	東京グリーン
東日本 会計	グランドスラム賞	東京グリーン

【ゴールデンメンバー受賞者、古平光市メンより】



チャーターメンバーとして歴代の会長はじめメンバーに支えられ励まされて今があります。ありがとうございました。神田川船の会スタートの時、晴天の広場で会長として一言挨拶して壇上から飛び降りた経験を思い出します。若かったなあ。

【写真右】は5月14日、長野県シニア大学の入学式に新生代表として一言挨拶した記念です。



- ② 開始時間変更、24年7月1日～18:00
第一例会開始時刻を、現状18:30から**18:00**に変更いたします。
- ③ 新入会など、(24年7月1日付)
- 1) 新倉雅隆メン:新入会、広義会員(2年間)
 - 2) 村杉一榮メン:広義→正会員
 - 3) 高谷禎宜メン:正会員→広義会員(2年間)
 - 4) 根本幸子メン:広義会員の延長(2年間)
 - 5) 塩入淑子メン:特別メネット→休会
- ④ 8月納涼例会について下記を検討します。
日時:8月21日(水) 時間未定
場所:香港亭(両国)

▲ **ハッピーバースデー:**古平光市、村杉一榮各メン



(樋口 記)

◆ **(6/8) 第89回神田川船の会報告**

日時: 2024年6月8日(土) 9:00～15:30
135名のお客様にご乗船いただき、午前午後各2隻で無事盛況に催行しました。東京 YMCA はじめ関係者各位のご尽力に感謝いたします。



【写真上:扇橋開門にて、八王子クラブの皆さま】



【写真上:浅草橋船宿「三浦屋」にて、東京 YMCA および東京グリーンクラブのメンバー】

◆ **(6/14) 田園調布学園船上学習報告**

日時: 2024年6月14日(金) 9:00～15:30

恒例の田園調布学園高校1年生(約200名)を対象とした船上学習(神田川船の会と同ルート)を実施しました。

入梅前の炎天下、午前午後各3隻により、約2時間のクルーズをガイド5名、スタッフ2名により無事乗り切ることができました。(柿沼 記)



【両国橋を通過する粹人丸】

◆ **新入会員プロフィール**

氏名:新倉雅隆(にいくら まさたか)

(故新倉健司メンのご子息)

勤務先:(有)船宿三浦屋 (浅草橋)

紹介者:目黒 卓

◆ **(7/10) 2024年7月第2例会(役員会)**

日時: 2024年7月10日(水) 15:00～16:30 Zoom

1. 例会運営打合せ
2. 神田川船の会関係(6/8のアンケートその他)
3. その他(ブリテン執筆等) (樋口 記)

◆ **今後の主なスケジュール**

- 1) 7月17日(水) 7月キックオフ例会(東陽町)18:00
- 2) 7月20日(水) 関東東部評議会(川越)
- 3) 8月14日(水) 8月第二例会(Z)15:00～
- 4) 8月21日(水) 8月納涼例会(詳細後報)
- 5) 9月6日(金)～8日(日) YVLF
- 6) 9月11日(水) 9月第二例会(Z)15:00～
- 7) 9月18日(水) 9月例会(東陽町)18:00～
- 8) 9月28日(土) チャリティーラン(都立木場公園)
- 9) 10月9日(水) 10月第二例会(Z)15:00～
- 10) 10月12日(土) 第90回神田川船の会
- 11) 10月17日(木) 10月例会(東陽町)19:00～
- 12) 10月19日(土) 関東東部部大会(川越)

【写真右】

特製ぶっかけ
そうめん!



全英オープンゴルフ開催月にちなみ
メンデルスゾーンの「スコットランド」



フェリックス・メンデルスゾーン作曲(1809~1847)
交響曲第3番イ短調「スコットランド」作品 56(1842)
指揮:フランツ・コンヴィチュニー(1901-1962)

ライプツヒ・ゲバントハウス管弦楽団(1962年録音)

7月は全英オープンの季節です。衛星中継の寒そうなスコットランドの画像をイメージして聴くのもいいですね。

メンデルスゾーンはハンブルグの大銀行家のご家庭に生まれ、幼少期から才能を開花させていきました。レコードジャケットの自筆画のように絵の才能もあったようです。

この曲は、20才のとき1829年7月、スコットランドを旅行した印象をもとに着想し、その13年後1842年に完成し、ヴィクトリア女王に献呈されました。

初演は同年ライプツヒで、当時彼が楽長をしていたゲバントハウス管弦楽団(世界最古の職業オーケストラ)により行われています。

曲全体がまるで歌曲のようです。美しく長いメロディーがすべての楽章にちりばめられています。しかもあまり深刻でないので、聴いていてなぜかストレス解消になるように思います。1~4楽章続けて流麗に演奏されます。

第1楽章:ピオラによるゆったりした序奏ではじまります。エディンバラにて、悲運の女王メアリ・スチュアートの居城ホルロード宮殿の廃墟を訪れた印象が哀愁を帯びて語られます。次にやや明るいテーマが表れますが、やがて肌寒い強い風が吹きます。

第2楽章:バクパイプを連想するクラリネットのソロで始まる軽快な民謡風の曲。クラ奏者あこがれの曲です。

第3楽章:口ずさみたくなるようなしみじみと美しい第一主題。厳かな感じの第二主題が交互に出てきます。

第4楽章:リズムカルでかつ堂々とした終曲です。ユーダ(終わりの部分)ではさらに威厳のあるメロディーがでてきて重々しく堂々と曲が終わります。

なお、彼は同年8月にヘブリディーズ諸島にも旅行し、翌1830年「フィンガルの洞窟」を作曲しています。これも名曲です。

推奨CDは旧東ドイツの名指揮者コンヴィチュニーによる格調高い演奏です。晴れ間の少ないスコットランドのように、なんともしっとり、このオケ独特の古風な音色。まるでセピア色の風景画のようです。(樋口 記)

1. 内閣府から日本YMCA同盟が要請を受けて実施した石川県輪島市町野町の避難所運営支援は、6月末で終了した。1月24日~3月末までは東京YMCAがスタッフを派遣し、その後は富山YMCAを中心に全国YMCAが協力して支援活動を行った。

2. 全国のYMCAでは40年余りにわたり水上安全教育に取り組んでいるが、その一環として今年度も6月に「ウォーターセーフティーデー」を一斉に実施、幼児・小学生の親子を対象に、着衣泳体験や心肺蘇生法を学ぶプログラムを開催した。また水上安全の知識を子ども向けに紹介している「ウォーターセーフティーハンドブック」を近隣の小学校、幼稚園、保育園等に計約2万冊を無料配布した(東京YMCAのHPからもダウンロード可)。

3. 6月14日から夏期キャンプ・スクールの申込受付を開始した。キャンプは9コースが設定され、多くのキャンプが即日定員一杯となった。今回も「フレンドシップファンド」により、経済的に困難なご家庭には、キャンプやプールの参加費を補助する。

4. 2030年をゴールとする3カ年計画(第1期:2025年度~2027年度)策定のために、「中期計画策定委員会」が設置され、7月から委員会がスタートする。上田晶平委員長他、ユース世代を含む会員と職員11名で委員会が構成され、今年度末までに東京YMCAのビジョンや事業展開他について協議し、計画をまとめていく。

5. 今後の主な行事予定

- 1) 「**早天祈祷会**」8月1日(山手センター/オンライン)
奨励:田附和久氏(日本YMCA同盟職員)
- 2) 「**山中湖センター100周年記念お披露目会**」
7月6日~7日(山中湖センター)
- 3) 「**キッズワールドカップ in 韓国**」8月7~11日
(ソウルYMCAダラグオンキャンプ場)
- 4) 「**第38回インターナショナル・チャリティーラン**」
9月28日(都立木場公園)

(クラブ担当主事:柳原 記)